

星野かずひさ氏を擁立・共産党 セクハラ問題・不信任町長が議会解散

みなかみ町の前田町長は、7月27日の臨時町議会での「町長不信任決議」を受けて6日、不当にも町議会を解散しました。

町議選については、7日に町選挙管理委員会は、告示を9月4日、投開票を同9日にすることを決めました。4月の町議選から、4か月しかたっていないませんが、また選挙となりました。

日本共産党利根沼田地区委員会は、候補者を一人に絞り、前議員の星野かずひさ氏を擁立し、セクハラ問題で議会から不信任決議を受けたにもかかわらず、町長の席に居座る前田町長の辞職・退任を訴えてたたかいます。

地方自治法では、選挙後の初召集の議会で不信任決議案が提出されれば、過半数の賛成で可決となり町長は失職し、50日以内に町長選が行われます。

前田みなかみ町長のセクハラ問題と日本共産党の対応

みなかみ町議選が始まって2日目の4月18日夜、前田町長は、ある宴会に出席し、その宴会が終了後、セクハラ被害にあった女性が所属している団体の二次会に参加し、宴席から外れたトイレの前でその女性に「キス」をしたとされている。町長自身も「キス」をしたことは認めており、相手の女性に対して、翌日「謝罪」のメールを送っている。

その後、女性は「セクハラ行為」を受けたと訴えているが、町長は「相手との合意の上」とか、「はめられた」などと言って、「セクハラ行為にあたらぬ」などと開き直っている。

しかし、宴席を2か所もはしごして酔っ払い、参加している女性に「キス」をすることが、町長としてふさわしくない、絶対にやってはならない行為であることは明白ではないでしょうか。

日本共産党は、このような立場から「町長の不信任決議には賛成する」という方針を決定していましたが、6月議会では、当時の議員団長であった林誠行氏が議会当日になって勝手にひるが（右へつづく）

熊谷碧さんが連覇を市長に報告

第14回居合道会国際大会

7月28日に東京中央区スポーツセンターで開催された居合道の第14回居合道会国際大会の11歳～15歳の部で優勝した熊谷碧（利南東小5年）さんが、7日に横山沼田市長に昨年に続き優勝したことを報告しました。

碧さんは、祖父の秋永薫さんの影響で、3年前から居合道に取り組んでいます。昨年にも続き市長に優勝報告をした熊谷碧さん



みなかみ町議選勝利へ向け
日本共産党演説会
弁士 衆院議員 塩川てつや
前町議 星野かずひさ
日時 8月26日(日)午後3時より 会場 後閑公民館

(左からつづく)えし、新人の星野議員をまきこんで「反対」してしまいました。(林誠行氏はその後、この裏切り行為の責任を取って辞職)

7月27日の臨時議会では、星野議員は「不信任決議案」に賛成し、前田町長への「不信任決議」が可決されました。

2018年8月12日 No.890
いのさんニュース
発行所沼田市下久屋町983 ☎23-1519
井之川博幸議員活動地域版部内資料